

(1) 目的別歳出

目的別経費の構成割合をみると、民生費66億 6,462万 1 千円（構成比38.8%）が最も大きく、次いで教育費24億 6,494万 4 千円（同14.4%）、土木費24億 6,434万 4 千円（同14.3%）の順となった。

また、衛生費、災害復旧費、商工費などが前年度に比べて減となった一方、教育費、土木費、総務費などが増となった。

教育費は、4億 3,988万 5 千円（21.7%）の増で、竹原グラウンド駐車場用地購入や小学校のバリアフリー化改修工事の実施などが要因となった。

土木費は、2億 8,703万 9 千円（13.2%）の増で、下土狩駅駅前広場整備事業や鮎壺公園交流施設新築工事の実施などが要因となった。

衛生費は、3億 5,922万 4 千円（14.6%）の減で、パークゴルフ場の整備が完了したことに伴う減などが要因となった。

一般会計歳出決算状況（目的別）

款 別	予算現額 (千円) (A)	決算額 (千円) (B)	(A)－(B)の内訳		令和4年度 決算額 (千円) (C)	増減額 (千円) (B)－(C)	(B)の 構成比 (%)
			翌年度繰越額 (千円)	不用額 (千円)			
1 議会費	139,052	133,890		5,162	132,301	1,589	0.8
2 総務費	1,975,915	1,894,645	17,193	64,077	1,676,232	218,413	11.0
3 民生費	6,999,496	6,664,621	124,160	210,715	6,462,377	202,244	38.8
4 衛生費	2,172,609	2,095,621	5,105	71,883	2,454,845	△359,224	12.2
5 労働費	45,455	44,889		566	42,019	2,870	0.3
6 農林水産業費	115,189	107,318		7,871	123,415	△16,097	0.6
7 商工費	243,554	228,742		14,812	303,160	△74,418	1.3
8 土木費	2,614,910	2,464,344	76,896	73,670	2,177,305	287,039	14.3
9 消防費	666,924	660,148		6,776	645,346	14,802	3.8
10 教育費	2,559,213	2,464,944		94,269	2,025,059	439,885	14.4
11 災害復旧費	40	0		40	81,754	△81,754	-
12 公債費	365,000	364,022		978	366,383	△2,361	2.1
13 諸支出金	60,028	60,026		2	59,871	155	0.4
14 予備費	28,166	0		28,166	0	0	-
計	17,985,551	17,183,210	223,354	578,987	16,550,067	633,143	100.0